

日歯連盟単一候補

笹井ひろふみ氏を激励



笹井ひろふみ君・亀井郁夫君を励ます会

力強く所信を述べる笹井候補

比例区 笹井ひろふみ君
選挙区 亀井郁夫君
を励ます会

十月十六日(木)午後七時より県歯科会館六階「ハーモニホール」に於て、笹井ひろふみ君・亀井郁夫君を励ます会が開催された。白田貞夫日歯連盟会長はじめ大勢の参加者のもと盛大に開催された。

山科透県歯連盟理事長の司会のもと、谷本健二県歯連盟副会長の開会の辞が始まった。次いで本山栄県歯連盟会長より「今日は診療でお疲れのところ笹井ひろふみ氏、亀井郁夫氏を励ます会をご案内申し上げましたところ、ご出席を戴き有難うございました。歯科医療界の厳しい状況については、申し上げるまでもなく、先生方身に染みて感じておられることと思います。しかし、どんな状況にあろうとも、我々は歯科医療を通じて国民の健康を守る使命があります。反面、良質な医療の提供は健全な医院経営なくしては出来ません。現在、広島県歯科医師会会員の約三十パーセントの医療機関では特措法を命網としておられます。この特措法が無くなり、事業税がかかり、歯科国保の補助金がカットされると大変な状況となります。こういうことが無いように笹井ひろふみ氏を国会に参画をしていただきたいというふう



支援を訴える白田日歯連盟会長

思い、この励ます会を立ち上げたわけでありま。政治力で全てが決まるとのことです。亀井郁夫氏は現役の参議院議員であります。私共が亀井先生をなぜか推薦するか。それは政治家として社会性をお持ちであること、政治家として高い理想と理念を持つて政治にあたっておられるということ。教育問題に対する政治力をみてもそれがよく分ることでありお人柄もあります。やさしく高潔なお人柄にもひかれます。そして歯科医療について特にご理解を頂戴し、また、いろいろな事でご指導を戴いております。更に、亀井静香先生のご兄弟でもあり、静香先生には広島県歯科医師連盟の特別顧問

でもあります。私共は亀井先生を歯科医師連盟全力をあげてご支援申し上げたいと思っている次第であります。政治が全てを決定し、政治は力です。政治に関心を無くし、投票の権利を放棄することは自分の幸せを放棄するのと同じ事です。来年七月の参議院選挙には、皆様のお力添えを頂戴し、是が非でも勝利したいと思っております。くれぐれも宜しくお願いを申し上げ、ご挨拶いたします。有難うございました。その後、来賓挨拶に先だつて両候補の決意表明が行われた。

先ず、大きな拍手に包まれて笹井ひろふみ候補が来年七月の参議院選挙に向けての決意表明を行った(二面掲載)。続いて亀井参議より「自民党の総裁選挙で私の弟の亀井静香が大変皆様方にお世話になりました。ご期待にそうご出来なかつたことを心からお詫び申し上げます」とも、今後とも是非よろしくお願ひします。広島選挙区では亀井と書いてもらつて比例代表の方は笹井と書いていただくようお願いいたします」と所信の表明がなされた。つづいて来賓挨拶にうつり、先ず、白田貞夫日歯連盟会長より「笹井氏を連盟の候補として推薦するにあたり、三つの条件を出しました。まず歯科医師会の先生方にお返しをしなければならぬ。二番目には、日本歯科医師会と緊密な連携をとること。三番目は十二年度の行政経験・人脈をしっかりと生かすこと。



挨拶する本山会長

笹井氏は歯科医師会にとって絶対に必要です。選挙に出したい人です」と述べた。つづいて豊間隆日歯連盟理事長は「がんばれ笹井君ホームページ、リーフレット、連盟広報だよりなどあらゆる手段をこらしてとにかく笹井氏を知ってもらおうとしております。今後の新しい形の希望ある歯科界のために闘う選挙であると認識をもつていただき、今こそ我々歯科界の底力をみせる時ではないかと思うのです」と訴えた。会場が盛り上がる中、小松昭紀県歯連盟副会長により力強いガンバロー三唱、高橋潤一郎県歯連盟副会長により閉会の辞があり、両候補は盛大な拍手で送られ、熱気に満ちた励ます会は終了した。

廣歯連盟ニュース

平成15年
11月10日
第114号

発行所
広島県歯科医師連盟
広島市中区宝町5-30
TEL (082) 241-8020
編集兼発行人 折田博昭

だいにすれば永久歯、
だいにしないと永休止
KEEP 20 TEETH TILL YOUR 80
8020運動
80歳で20本以上の自分の歯をもちましよう



決意表明する笹井ひろふみ候補

決意表明 笹井候補挨拶

私の人間性、また候補者としての可能性という部分を御理解いただくためにお話をさせていた。だいたい。社会保障制度というものは、本来なら国民が社会的な状況や経済の動向に左右されることなく、生活の保障を担う、それが社会保障制度の本来的な目的であり、我々歯科医師は医療を担う人間として、その制度を堅持しなくてはならない。しかし今現在の経済政策優先の改革の流れの中で、歯科界に対するハードルをいかに越え、そういった波や流れに対して強い歯科界を一日も早く作る必要がある。しかし他の医療界と違い、大きな問



亀井郁夫参議

題をかかえている。年間二千七百名の卒業生を世に輩出し、そしてその歯科医師が、歯科診療所の医療経営者にならざるを得ないというこの画一的な方向性の中で供給面が過剰に進んでいる。それに加えて国民の口腔保健に対する意識の向上とか歯科の医療技術の向上による歯科疾患の減少化・軽症化というのがある。本来ならばあるべきはずの疾患、しかも需要が年々小さくなっていく。加えてその需要を分け合う仲間が増えていく。この需要と供給のバランスの中で、将来に対して歯科界の人間すべてが明日の歯科界に対して望みが



豊間日歯連盟理事長

持ができる。それによっていわゆる一般医科に対する、特に高齢、後期高齢者における医療費の抑制が可能である。こういったデータを積みあげることによって我々が、診療報酬の中でその評価を獲得してゆく。この流れを作らなければ、医院経営を安定化していくのは、ほぼ不可能である。幸い厚生労働省は平成二十年度を目標に医療制度改革を行っており、高齢者医療制度、様々な保険者の統合再編の見直し、そしてもう一つが診療報酬体系の見直しである。昭和三十年代以降行われた数十回の改定作業により、非常にぎこちない形になっていく。歯科点数表を新たな考え方をもち、新しい技術料評価、また医療経営の適正なコスト評価というものを歯科界として見直し、獲得していく。もし平成二十年度までにこれを打ちださなければ、国民も行政も支拂側も歯科界はなにも困ったものがない。だからなにも言っていないのだととられ、これ以上苦しい辛酸をなめることになり、技術評価の中で特に

時間として難易度、この二点の評価についての大きな見直しをほかり、ただ不採算性によるものはなく、大きな学説的なデータをもって、中医協の場に臨み、新たな点数表をここで獲得しなければならぬ。時間や難易度を評価することによって充分時間をかけて患者さんに対して治療を行える。そしてその流れの中で新たに獲得する予防・健診・管理。この二つの抱き合せがこれからの減少していく歯科需要に対して歯科医師が医療経営を安定化していく術になるわけである。もちろんその時には学会が大きな力を結集して臨まなければならない。そこには学会が大学病院等でやった様なデータでは、折角そこで造りあげたデータがフィードバックしたときに使えない点数表になってしまふ。日常的な活動評価、そういったドクターの診療行為の部分に対するデータを積み重ねることによって現場の声を反映させる。もちろん歯科医師の収入面での技術革新や技術評価というものを、一方で見えずながら今の税制体制をこれ以上



参加者全員でガンパロー三唱

上ゆずり渡すようなことがあつてはならない。事業税の非課税措置、所得税の外算経費率の問題に對しても、しっかりと堅持していかなければならない。さらに消費税、この免税点も三千万円から一千万円に引き下げがされようとしておりますが、この部分についても歯科界として適切な対応をしていくように体制を堅持していかなければならない。歯科界全体とすれば相当額の納税というところになって医療経営における損失になってくる。歯科医師会が社団法人として活動できない部分を埋めていくのが政治活動であり、政連であり、その声を一つ一つ反映していくことが職域代表に課せられた責務であり、それを迅速に対応していくということが重要であるという風に考えております。しかしながらその歯科医師会も含め歯科界が多くのことを変えていかなければならない、ハードルを越えていかないといけない時に、前に立ちださるのが行政であります。行政はやはり行政のロジックがあり予算編成一つにしても時期とタイミングを逸すれば一円たりとも予算の獲得は難しいわけです。私は平成三年厚生省入省以来十一年間の行政生活で行政が何を考え、どのような論理で動いているかというのは充分知りつくしているつもりです。経験とそこで得た人脈を利用してこれまで歯科界から受けた恩恵に報いるべく職域代表として活躍をしたいと考えております。現場の声を反映し、霞ヶ関や永田町で歯科界の声を、発言力の向上をめざして一生懸命頑張りたいと思っております。私に對しご理解ご支援としてご厚情をたまりますようお願いいたします。



笹井候補を囲んで 懇親会スナップ集



人柄に触れて支援拡大



一丸となって目標達成を



職域の代表を国政の場へ





お互いに意見を交わす笹井候補



平成十五年度 第二回理事会開催

十月十六日(木)午後五時三十分より県歯会館四階「役員会議室」に於て標記理事会が開催された。

小松副会長の開会の辞で始まり、本会長より「第二回の理事会へ多数ご出席いただき有難うございます。我々を取り巻く歯科界の厳しい状況につきましても申し上げるまでもなく、身をもって感じられていることと思う。そういう意味において連盟を一生懸命やらなければと思っている。この度、七月の日歯連盟評議員会において、笹井ひろふみ氏を次期参議院選挙の職域代表として機関決定いたしました。笹井氏に關しては少し知名度が低いという難点もあるが、これを我々の会でカバーしていかなければと思っている。今回は少し前回と違って、東北、東京などで盛り上がりが出ている。各都道府県においてもぜひ励ます会を行ってほしい。これから西のほうでも運動が強くなっていくと思う。衆議院選挙については、それぞれの支部にお世話になると思う。激文、推薦状、陣中見舞い等先方にお願いをしたいと思っている。笹井氏につきましても、必ず中央に送って行きたいと思っておりますので、ご理解のほどよろしくお願ひします」と挨拶があった。

続いて、協議事項に入り次の協議を行った。
一、総選挙への対応について
衆議院選挙の推薦政党並びに候補者について協議した。
二、自民党広島県歯科医師支部女性会の設置について
三、笹井ひろふみ広島県後援会の設置について
四、笹井ひろふみ君・亀井郁夫君を励ます会について
以上提案どおり承認された。

会議の途中、励ます会出席の笹井氏より「今の



第二回理事会

がある。そこで職域代表の力が国政において様々な形で必要になり、私自身の十一年間の行政経験と人脈が、これまで歯科界に受けた恩義に十分恩返しできるものと思う。私一人では成し得ない事もありますが先生方のお力を借り、また各都道府県歯科医師会における先生方の御活躍や、そこにおける臨床データ、保健事業に参画いただいた実績を国が拾っていき、それにより日本全体の歯科保健医療を堅持していきたい。これから全国を三巡し、一人でも多くの先生方とお会いして私を理解していただき、活力ある歯科界をとりもどせるように努力したい」と決意表明があった。

最後に高橋副会長の閉会の辞で終了した。

次期参議院比例代表選挙単一候補者に笹井啓史氏が決定

七月三日(木)午後一時より新歯科医師会館一階「大会議室」において、日歯連盟第八十九回臨時評議員会が開催された。

青戸 泰吉 (島根県)

三、国会報告

参議院議員 大島 慶久
衆議院議員 吉田 幸弘

四、挨拶

会長 白田 貞夫
副会長 林 伸伍

五、報告

理事長 豊間 隆
理事 井上純一郎 (栃木県)

六、議事

第一号議案 次期参議院比例代表選挙単一候補者の推薦について

め切りで、候補者の申請は笹井啓史氏が東京地区から提出があったこと、これを受け六月二十四日(火)選考委員会が行われ、笹井啓史氏の推薦を決定したことなどの経過説明が執行部よりあった。

その後各評議員より活発なる意見があった後、採決に入り、次期参議院比例代表選挙単一候補者に笹井啓史氏を概ね全会の承認を得て、可決決定した。

議事の第一号議案については、まず候補者の公募について六月二十日締

連盟会務報告

(平成十五年六月一日〜平成十五年九月三十日)

6・5	日歯連盟常任理事会・理事会	8・1	日歯連盟顧問会議
6・7	合同会議	8・2	自民党広島県参議院選挙区第五支部二〇〇三年セミナー
6・20	第四十二回自民党連大会	8・3	福山市長選挙投票日(三好氏当選)
6・26	日歯連盟第二選挙区支部総会	8・6	第一回日歯連盟監事会
6・27	日歯連盟常任理事会・理事会	8・22	日歯連盟常任理事会・理事会
6・30	平成十六年度歯科保健医療関係予算及び制度・税制改正に関する陳情(推薦国会議員宛)合同会議	8・29	日歯連盟代表者・理事長・事務局長合同会議
7・1	日歯連盟常任理事会・理事会	9・1	笹井ひろふみ事務所開き
7・3	ゆめづくりフォーラム2003	9・9	亀井郁夫参議院議員来会
7・7	連盟ニュース一三三号発行	9・13	福岡康夫元広島県議会議員他三名公明党議員来会
7・14	第八十九回日歯連盟臨時評議員会	9・16	本会・連盟三役合同会議
7・18	母谷たつり市政報告・感謝の集い	9・17	平成十五年度広島県政懇話会総会
7・18	増原義剛君を励ます集い	9・19	亀井静香衆議院議員夫人来会
7・18	新田篤実県議会議長就任祝賀会	9・24	岸田文雄君を激励する会
7・26	日歯連盟常任理事会・理事会	9・26	青山広島県医師連盟副会長来会
7・26	合同会議		日歯連盟常任理事・理事合同会議
7・26	秀政会サマーセミナー		第九十日日歯連盟評議員会

その意味でも次期参院選で我々の職域代表を是が非でも国政の場に送らなければならない。

最近、日本経済は少し良い兆しがみえてきたというが、我が業界は益々厳しい状況にある。これを打開するためには、強い政治力が必要である。

(哲)

編集後記

選挙権を得ては十数年。投票は必ず行っているが、これまで選挙にあまり関わりなく過してきた。編集の仕事を手伝わせて頂くようになり、今回が初めての選挙、候補者の話を聞いたり、記事をしっかり読んで関心が持てるようになってきた。

(小夏)